



VOL.48

一年の総括
シリーズ2

一年間を振り返って

桂川小学校校長 藤田季弘

「体力」

2月26日、『スポコン広場』福岡県大会がアクション福岡で開催され、本校の2つの学級が、筑豊地区小学校代表として参加しました。平成22年度も現6年生が初めて参加しましたので、2年連続の参加になりました。

学力向上と同様に、体力向上も将来を生きていく上で重要ですが、子どもたちの体力低下が大きな課題と言われています。この対策の一つとして、スポコン広場があります。

大会では、前6年3組が上学年の部で『準優勝』、前4年3組が中学年の部で『3位』の成績を収めました（詳しくは28ページをご覧ください）。

本校での『スポコン』の取組については、広報けいせん1月号でも、掲載させていただきましたが、本校児童の体力は確実に高まっていると感じていきます。

「学力」

町指定の研究発表会を11月に開催しました。国語の発表をたくさんの人に観ていただきましたが、この研究の成果を、2月に学習発表会という形で、保護者の方たちに観てもらいました。

内容は、今まで学習してきたことを中心にし、長い文章等を声で伝えるものです。当日は、600人の児童と200人以上の保護者の方たちが、体育館に一堂に会し、とても意義のある発表会ができました。

このような取組を進めていく中で、『学校に活気がありますね』などの声をいただきました。

今年度も、昨年度の反省を踏まえながら、子どもたちの健やかな成長のために、精一杯取り組みますので、皆様のご支援をよろしく願います。

ぐんと伸びた一年間

桂川東小学校校長 諫山秀代

子どもは毎年ぐんと伸びていきます。家庭で、地域で愛され指導されて伸びていきます。そして学校では、様々な学習を通して鍛え、伸ばしていきます。

桂川東小学校の「めざす子ども像」をもとに、平成23年度を振り返ってみます。

「人と人とのかわりを大切にできる子ども」

けんかもしました、泣いたり泣かされたりもありました、でも、その度に互いの気持ちを聞き、分かちあつてきました。それで、相手を大切にするを少しずつ覚えてきています。

総合的な学習の時間を中心に、地域の様々な方々にゲストティーチャー（GT）としてかわっていただきました。家族以外の大人と接する機会は限られます。学校での様々なGTとの出会いは貴重です。

「がんばり抜く心と体を持った子ども」

平成23年度から「マラソン大会」、「なわとび大会」を実施しました。2年生でも10分間とび続けること

ができるほど、鍛えた子どもいます。

しかし、ほとんど運動をしない子がいることも現実です。

勉強でも読書でもスポーツでも、体力がない子は、長続きしません。規則正しい生活リズムを保つにも、体力がいります。これからも鍛えていきます。



「しっかりと学ぶ子ども」

「学校は勉強するところ」が桂川東小学校の合言葉。

それぞれの学年で身につけなければならぬ学力があります。根気強く、繰り返し練習しなくては身につかないのです。「できるようになろう」と自覚し、進んで学習に取り組む意欲を高める取組を進めていっています。

学校で学習したことを、家に帰って繰り返し練習することも大事です。

今年度も、子どもをよりよく伸ばすために、様々な取組を、家庭・地域と連携しながら進めていきます。ご協力よろしく願います。